

第4回岩内町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会 議事録（概要版）

開催日時：平成28年3月28日（木）15：00～17：00

開催場所：岩内町役場 会議室（2F）

<次第>

- 1 開会
- 2 議題
 - (1) 岩内町人口ビジョン（案）について
 - (2) 岩内町総合戦略（案）について
 - (3) 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）事業実施結果について
 - (4) その他
- 3 閉会

1 開会

○事務局：（開会）

当委員会・副委員長の副町長・小熊が3月23日付で任期満了の退任となり、後任には企画経済部長・猪口部長が副町長として就任した。

○副町長：（挨拶）

○委員長：猪口副町長に引き続きこの委員会の副委員長を務めていただく件、異議ないか。（「意義なし」の声あり）

2 議題

（1）人口ビジョン（案）について

○委員長：それでは、事務局資料説明をお願いしたい。

○事務局：（資料1説明）

○委員長：意見等よろしいか。これを最終案としてよいか。（「意義なし」の声あり）

（2）総合戦略（案）について

○委員長：それでは、事務局資料説明をお願いしたい。

○事務局：（資料2説明）

<基本目標1について>

○委員長：基本目標1について、先ほど深層水の利用はより意欲的ということ、当初よりかなり多めの数字を上げていると思うがどうか。

○委員：深層水は多くの予算を使ってやっているの、希望的観測としては、もっと増やしてもいいのかなという気はする。ただ、現実的に、今はこの半分くらいだと思うので、この辺がいい数字なのかなという気もする。ただ、安定した雇用という意味では、ナマコの水揚げ金額とあるが、この岩内町の主要産業の一つが漁業で、その水揚げ関係が一切載っていないというのは、書き足りない。今、海に魚がいなくて、養殖等も、もう少し書き込んでもいいのかなという気はした。

○委員長：特に1次産業、水産関係のところ、ナマコだけを書いているが、もう少し多様な軸で設定してもいいのではないかと。このあたり、水産関係ということではないか。

○委員：全くもって同じ考えである。

○委員長：総合戦略において、より重点的に推進すべき産業という意味で、水産業、水産加工業、養殖業、このあたりをより深く書き込んでいくというのが望ましいという意見である。

○委員：品目をナマコだけにしたのは何故か。恐らくナマコの種苗関係で予算が決まったので、目標として設定しやすいという部分があったと思うが、雇用の安定創出を考えると、品目は特化しないほうが、より実情に沿ったデータがとれるのではないか。

- 事務局：漁業に関しては、受け皿となる漁業協同組合の理解と協力が重要で、その中で、養殖となるとハードをつくる等、そういった部分を一から進めなければならぬところと、岩内の漁組だけで対応できる部分とできない部分が出てくる。積丹地域の日本海の生産性の上がらない漁業を今後どうしようかと考えた中で、ナマコは金額的にもいいものなので、泊村、神恵内村、そして協力いただける漁組で、今回ナマコでやってみようかということもあり、ナマコに特化した書き方をしている。当然、ほかの部分についても、深層水を活用しながら色々検討しなければならぬと考えている。
- 委員：ナマコは取り扱い商社が道内幾つか決まっており、例えば地元の郷土料理、商品開発に生きてこない品目。水揚げされて、それを買いつけに来ているという状況。
- 委員長：今後、波及効果がなかなか見込めないということか。
- 委員：はい。例えば地元の水産会社が、ナマコで商品開発というように、派生しづらい品目なので、絞り過ぎるのもどうか。
- 事務局：深層水を使いながら、新しい商品の開発、また、今ある商品の販路の拡大も進めていく。
- 委員：加工はわかるが、漁業が一切ないのでないか。5年でできるものはある。すぐ養殖をやれと言っているわけではない。5年の中で養殖をやるための土台づくりをするとか、そういうものの書き方はできるのでないか。
- 事務局：具体的なKPIとして載せる。
- 委員：数字と言っているわけではない。漁業に対する書き込みがない。
- 委員長：総合戦略では数値目標が強く求められている。その数値目標を実際にクリアしているのかどうかは、今後確認。PDCAが求められる中で、理念をうまく書き込めなかったという状況にあるかと思う。ただ、漁業者の人数を今より増やすという数字を書くというよりも、漁業は大事なのだということをもっとこの中で書くということ。
- 事務局：水産担当とも調整し、書き込みできるような形で対応する。
- 委員長：就労支援については、どうか。
- 委員：産業振興しても、そこに勤める人がいないとどうしようもない。重点項目の③で、若年労働者の就労支援、定着促進とあるが、水産加工では人手不足で、本来は企業のやることかもしれないが、企業イメージ、産業イメージの払拭というか、そういった部分を盛り込んでいく必要がある。昔、3K職場と言われていても、現在かなり労働環境が改善されているところもたくさんあると思うので、イメージを払拭するような取り組みが必要である。
- 事務局：企業のイメージというのは非常に大切な部分だと思う。行政ができる部分と、民間企業が対応する部分がある。関連団体と行政が連携しながらとり進めていく必要がある部分がある。
- 委員長：若者が地元の基幹産業にしっかり目を向け、そういう取り組みをしていくことを冒頭でもうたうということはどうか。
- 事務局：内部でもう1回検討して、意見等に対応していく。
- 副委員長：ナマコについては、3町村連携事業で、大きな事業で、岩宇の3町村が連携して、協議会をつくり、その協議会が、地域で生産されたナマコ、ウニなどを海外に輸出するという商社の役割まで担って、ブランド化して販路拡大していくという計画である。育てる漁業を、個別の漁協ではやってはきているが、なかなか大きな成果が上がっていない。漁業者の所得が少ないということもあり、漁業者の生産性向上、これを連携してやろうということで組み立て、加速化交付金を使って、国のほうからOKもらったということで、冒頭いただいた意見は意見として、書き込みがされると思うが、その中の一つの個別の事業として、町としても、このナマコの関係はぜひやっていきたいという決意だけ申し述べさせてほしい。
- 7ページのKPIの深層水の試験利用の利用登録企業数226社という設定で、26年の基準値だと176社で、27年の12月末の登録数は201社で、深層水の事業を開始した当初から比べると、毎年毎年順調に登録企業数は伸びてきているので、この部分のKPIをもうちょっと増やしてもいいのかなと思う。
- 事務局：再度、担当と確認する。
- 委員：地域商社、ブランド化、マーケティング、海外販路の拡大等と書いているが、今、根室では漁業者はいいが、加工業者は加工するものがないといっている。商社が漁業者から全部買い上げ、そのため、地域で出回るものがない。商社はブランド化、販路拡大に力を貸してくれるわけではない。助けてくれるような書き方になっているが、どうなのか。
- 委員長：協議会では、そういうことをうまくやっていこうということか。
- 副委員長：はい。
- 委員長：問題意識は一致している。
- 委員：そういうのがあればいいが、ただ現実として、そういう状況にはなっていないと聞いていた。
- 副委員長：実は協議会の設立がまだこれからの話。今、計画の中では、協議会の中に、行政、各漁協、金融機関等に入ってもらう。立ち上げがこれから。
- 委員：もちろんうまく回るようにした上でということで、融資はまた別で、いろいろなノウハウを提供してくれる。地域商社では、商社的なものをつくるのだろうが、地元の魚が高く売れないというのを改善しようという、まさにそれができるかどうかわからないが、そうしないと交付金がつかない。

- 委員：今までだと、大手の地域商社、総合商社がやってきて、いいところだけを持って行って、地元には何も残らなかった。地元の中で利益が環流できる仕組みをつくっていくという話なので、当然のことながら、加工も地元でできるのかどうなのかも、やってみないとわからない。
- 委員長：基本目標1には、基幹産業、特に漁業との関連事業の推進を載せるということで、可能な表現をここに盛り込んでいただきたい。KPIについては、深層水の利用登録企業数について、検討いただきたい。

<基本目標2について>

- 委員長：基本目標2についてはどうか。
- 委員：観光入込数、宿泊人数、どちらも目標が低いかどうか。
- 事務局：観光入込数は47万5,000人だったが、50万人に数字を上げた。
- 委員：大体のことは概略として書いてあるが、岩内町で何をしていくのかというところがわからない部分がある。地域で観光客、移住者を受け入れるにあたり、もう少し具体的な戦略を発信したらどうか。
- 事務局：観光は、目玉になるようなものがなかなかない。岩内町の風光明媚な風景、そういった部分でしか売りがない。木田金次郎美術館等の周遊コースといった方策はやっているが、リピーターがいない。宿泊施設は、宿泊数、ベッド数はあるが、地域内、泊発着所の労働者が主に使用しており、岩内で宿が取れにくいという声もある。町としては、ニセコ圏の観光客を岩宇4町村が一体となってこの地域をPRするという事業もこの中に盛り込んで動いている。観光担当のほうからも50万人という数値を上げてきているので、今後、観光客をどうやったら引っ張ってこられるのか検討していく。
- 委員長：交流人口、ひいては定住人口へと、その部分が基本目標2の大きなねらいだということをしっかり書き込んでいただきたい。
- 委員：移住・定住に関わる助成とあるが、移住されて終わりではなく、移住者が新たな移住者を呼び込むようなことを盛り込めばいい。
- 事務局：移住・定住に関しては、岩内町は今まで取り扱えてなかった事業の一つ。定住・移住は必要だといったことを再認識している。ロコミも非常に大切だと思っているので、加筆し、そういった情報発信についても記載できれば考えている。
- 委員：11ページ、12ページで、小中学校にALTを配置するのは賛成で、ALTがチャイニーズ系等の場合は、中学生であれば、英語以外の言語力も磨こうという取り組みがあるといい。中学校には、英語以外の言語も含めたALTなどが来るといい。
- 委員長：KPIは英検3級以上となるが、国際化ということで、英検3級では開きを感じる。文言は国際化教育推進ということで、英語に限らないとなっているかと思うが、これはわかるか。
- 事務局：この事業は加速化交付金を活用し、KPIは申請の段階で載せている。小さなKPIになってしまっているの、今後検討させていただきたい。
- 委員長：国際化教育、なるべく幅広くということで、運用のところで工夫をしていただきたい。
- 委員：13ページの移住で、基準数値は転入者合計か。転入者とあるが、一般的に移住者が転入者なのか。岩内町は390人も移住者がいるかという話になってしまうような気がしたので、この辺、違和感がある。
- 委員長：移住促進事業なのに、設定したKPIに転入者を書いている。ここはわかるか。
- 事務局：転入者が移住なのか、仕事で来たのか、そういった仕切りはない。数字的に行政としてはとらえられない。聞き取り調査をすれば把握できるかもしれないが、今までそういった数字をとっていないため、あくまでも今回は転入者数という形で比較している。

<基本目標3について>

- 委員長：基本目標3はどうか。
- 委員：20ページの下の方、絵本、ブックスタートとある。図書関係は、具体的な事業名は忘れてしまったが、体育館にたくさん本を持ってきて借りるといった事業への補助も聞いたことがあるので、5年間のうち1回ぐらいはこういった事業へ手をあげてみてはいいかわか。
- 委員長：重点項目3は結婚支援とあり、60組、もしくはそれ以上達成してくれるとよい。
- 事務局：基本目標3は、他の自治体でやっているのに岩内町はやっていない、そういった事業を載せている。書き込みは少ないが、どこの自治体もやっていること、やっていないところはそこに追いつきたい。ただ、岩内町の特徴、目的的な事業、何かの補助事業制度があったら、すぐ手をあげて、いろいろな事業にチャレンジしていきたい。
- 委員長：人口ビジョンと接続がなされるような形で設定し、調整いただきたい。

<基本目標4について>

- 委員長：基本目標4はいいかがか。空き家・空き地の活用、既存のストックを活用という観点で進めるということが掲げられているが、重点項目3の交通網にはKPI設定が現実には難しかったという認識でよろしいか。
- 事務局：交通網については、この組織とは別に、地域公共交通活性化協議会で話を進めており、最終的には岩内町が計画することになっているため、この部分のKPIは設定していない。
- 委員長：医療、福祉についてはどうか。
- 事務局：岩内町は、がん検診受診率が他の自治体から比べると低い。がん検診の受診率向上を目標に上げて、医者にかかる前に予防できるものは予防しようという考えで、重点項目に記載した。
- 委員：研修医が入るような話もある。まちで医療を充実させていこうという熱意が感じられるので、役場もちょっと後押ししてあげたらいい。
- 委員長：その他、防災、安心・安全についてはいいか。それでは、全体を通じてどうか。

<全体を通して>

- 副委員長：PDCAサイクル、今後の進め方はどうか。
- 委員長：28ページに、実際に掲げたKPI、総合戦略実現について記載をしているが、補足等はあるか。
- 事務局：今年度の目標は、総合戦略、人口ビジョンの策定で、28年度からは、戦略とKPIを設定して施策を実行していく段階に入る。施策やKPIについては毎年検証していく。この推進委員会は、28年度以降も定期的に開催して、委員の皆様から意見等いただき、見直しをしていきたい。
- 委員長：本日、委員の皆様からの意見等を反映させていくが、私と事務局に一任いただき、意見等を取りまとめ、最終案としたい。最終的には町長、推進部長の決裁となるが、この推進委員会の最終案は、私に一任いただきたいがよろしいか。（「意義なし」の声あり）
- 委員：予算措置はどんなような形になるか。
- 委員長：資料3にかかわってくるか。つくったほうがいいが、推進していく上での予算的な裏づけをどうするか。
- 事務局：資料3については、27年度今年度やった事業になる。28年度以降のものは、予算措置が通ったものもあるが、通っていないものもある。そこを再度整理して28年度の予算について、やっていく事業について整理して、あらためてお知らせさせていただきたい。
加速化交付金については、国の交付金がついているものについていないものがあるため、交付金でやる事業についてもあわせてお知らせさせていただきたい。
- 委員長：それでは、総合戦略（案）についての議論は以上とさせていただきます。

(3) 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）事業実施結果について

- 委員長：事務局、説明をお願いしたい。
- 事務局：（資料3説明）
- 委員長：質問等あればいいか。
- 副委員長：10ページのKPIについて、農家の実績が1件となっているが、2件ではいいか。
- 事務局：後ほど確認する。
- 委員長：その他、よろしいか。

(4) その他

- 委員長：今年度最後の委員会となる。全体を通じて何かないか。引き続き委員の皆様にお力添えいただいて、今後は達成していくための支援、助言をいただきたい。これまで御協力ありがとうございました。
- 事務局：平成28年度は、2回ほどの開催を予定している。またあらためて案内させていただく。引き続きよろしくお願ひしたい。

3 閉会

- 事務局：本日はどうもありがとうございました。

以上